

～学校・家庭・地域で通じ合う心～

協働通心

令和2年度

第6号

発行元

草津市教育委員会

生涯学習課

寒さもやわらぎ、春の訪れを感じる今日この頃ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域協働合校事業が計画通りに推進できず、感染防止対策や対応に追われる大変な一年となりました。

令和2年度「地域学校協働活動」
推進にかかる文部科学大臣表彰
老上ふれあい農業合校



【表彰状授与の様子】

さて、平成10年に地域住民が農業体験を通して青少年の健全育成を図る目的で活動が始まった老上ふれあい農業合校と、老上小学校が連携・協働した体験活動に対して、「令和2年度地域学校協働活動」推進にかかる文部科学大臣表彰が授与されました。

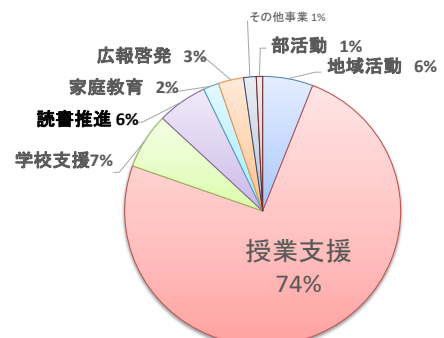
草津市としては、各地域や学校での特色ある取組が認められ、2年連続受賞という結果に大変喜んでおります。今後も児童・生徒が体験を通して学んだことをもとに、これからの時代を生き抜く力を、地域の方々と協働しながら育みたいと考えております。



地域協働合校実績報告

小・中学校の地域協働合校活動実績が報告されました。コロナ禍のため、事業数や参加者数は減少してしまいましたが、実施した活動を分類すると右下グラフのようになりました。

支援していただく方の固定化は、学校の目的や子どもたちへの願いを理解し、継続的に知識や経験を発揮できる利点がございましたが、その方たちの支援が継続困難になった場合、代わりの方が見つからないと「実施したい取組ができない」という大きな不安要素が生じます。そうならないためにも、より多くの方が、可能な範囲で支援に参加いただけることが望まれます。「一人で何かを任される」ではなく、既存の活動に、支援くださる方と一緒に参加し、輪を広げていただけるよう、行政も周知、啓発に努めてまいります。



【地域協働合校 活動分類】